

日本史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 13 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. これは、日本史 B の問題である。出願の時に選択した科目であるかどうかを確認の上、解答すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
5. 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入またはマークすること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
7. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
8. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
9. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
10. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
11. **解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。**ただし、この問題用紙は必ず持ち帰ること。
12. 試験時間は 60 分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例
	

※ この問題用紙は、必ず持ち帰りなさい。

〔 I 〕 次の史料を読んで、以下の設問に対する、もっとも適切な答えを1つ選び、マーク解答欄にマークしなさい。

頼朝勲功ハ昔ヨリタグヒナキ程ナレド、ヒトヘニ天下ヲ掌ニセシカバ、君トシテ
(ア) ヤスカラズオボシメシケルモコトハリナリ。況ヤ其跡タエテ後室ノ尼公陪臣ノ義
時ガ世ニナリヌレバ、^(イ)彼跡ヲケヅリテ御心ノマヽニセラルベシト云モ一往イヒナ
キニアラズ、シカレド白河・鳥羽ノ御代ノ比ヨリ政道ノフルキスガタヤウヤウオ
トロヘ、後白河ノ御時兵革オコリテ奸臣世ヲミダル。天下ノ民ホトンド塗炭ニオ
チニキ。^(ウ)頼朝一臂ヲフルキテ其乱ヲタイラゲタリ。王室ハフルキニカヘルマデナ
カリシカド、九重ノ塵モオサマリ、万民ノ肩モヤスマリヌ。上下堵ヲヤスクシ、
東ヨリ西ヨリ其徳ニ伏セシカバ、実朝ナクナリテモソムク者アリトハキコエズ。
是ニマサル程ノ徳政ナクシテイカデタヤスククツガヘサルベキ。縦又ウシナハレ
ヌバクトモ、民ヤスカルマジクハ、上天ヨモクミシ給ハジ。次ニ王者ノ軍ト云
ハ、トガアルヲ討ジテ、キズナキヲバホロボサズ。頼朝高官ニノボリ、守護ノ職
ヲ給、コレミナ法皇ノ勅裁也。ワタクシニヌスメリトハサダメガタシ。後室ソノ
跡ヲハカラヒ、義時久ク彼ガ権ヲトリテ、人望ニソムカザリシカバ、下ニハイマ
ダキズ有トイフベカラズ。一往ノイハレバカリニテ追討セラレンハ、上ノ御トガ
トヤ申ベキ。謀叛オコシタル朝敵ノ利ヲ得タルニハ比量セラレガタシ。カヽレバ
時ノイタラズ、天ノユルサヌコトハウタガヒナシ。

1. この史料の著者名と、ここで論じられている戦乱の組み合わせとして、正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

- | | |
|-------------|-------------|
| ① 慈円－承久の乱 | ② 慈円－平治の乱 |
| ③ 北畠親房－承久の乱 | ④ 北畠親房－平治の乱 |

2. ここで論じられている戦乱に関連して述べた文として正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 乱の結果、後鳥羽・土御門・崇徳の三人の上皇が配流され、仲恭天皇が廃された。
- ② 乱後に新たに置かれた新補地頭の収入を保障するために、幕府は新補率法を定めた。
- ③ 後鳥羽上皇は、新たに北面の武士を置いて軍事力の増強をはかった。
- ④ 後鳥羽上皇の北条義時追討の院宣に対して、義時は自ら兵を率いて京都を攻め、上皇方を破った。

3. ここで論じられている戦乱より前の出来事を、下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 宝治合戦
- ② 評定衆の設置
- ③ 霜月騒動
- ④ 和田義盛の敗死

4. この戦乱の後に定められた御成敗式目について述べた次の文A・Bについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

A：これを定めた北条泰時は弟の重時宛ての書簡の中で、従来の公家法や本所法は廃すべきであると述べている。

B：頼朝以来の先例や、当時の武士たちの間で重視されていた道理に基づいて制定された。

- ① A：正、B：正
- ② A：正、B：誤
- ③ A：誤、B：正
- ④ A：誤、B：誤

5. 下線部(ア)に関連して、源頼朝による武家政権の形成について述べた文として誤っているものを、下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 朝廷を監視するために、京都に六波羅探題をおいた。
- ② 御家人を統率する侍所を設置し、和田義盛を長官に任じた。
- ③ 後白河法皇と交渉して、東海・東山両道の東国の支配権を得た。
- ④ 御家人を諸国の守護や荘園・公領の地頭とし、東国以外にも支配を広げた。

6. 下線部(ア)に関連して、源頼朝によって滅ぼされた奥州藤原氏が平泉に開いた中尊寺について述べた次の文A・Bについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

A：中尊寺金色堂は、地方に伝わった浄土教の影響を強く受けた建築である。

B：中尊寺金色堂と同じ建築様式をもつものとして、円覚寺舍利殿がある。

- ① A：正， B：正
- ② A：正， B：誤
- ③ A：誤， B：正
- ④ A：誤， B：誤

7. 下線部(イ)に関連して、13世紀初期の政治史に関して述べた次の文A・Bについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

A：源頼家が將軍の地位を追われて、幽閉の後、謀殺された。

B：北条義時は、政所別当に加えて侍所別当を兼任し、執権の地位を確立した。

- ① A：正， B：正
- ② A：正， B：誤
- ③ A：誤， B：正
- ④ A：誤， B：誤

8. 下線部(ウ)に関連して、保元の乱から平清盛が太政大臣になるまでの間の出来事について述べた文として誤っているものを、下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 後白河上皇の命で平清盛が蓮華王院を造営した。
- ② 藤原信頼が源義朝と結んで挙兵したが、清盛に敗れ、義朝の子の頼朝は伊豆に配流された。
- ③ 地方の有力武士の浄土教信仰を背景に、陸奥に白水阿弥陀堂が建立された。
- ④ 藤原忠通と結んだ崇徳上皇は保元の乱に敗北し、讃岐に配流された。

9. 下線部(ウ)に関連して、後白河院政の時期に起こったA～Cの事件を古いものから年代順に正しく配列したものを、下記の①～④の中から選びなさい。

A：守護・地頭の設置

B：奥州藤原氏の滅亡

C：鹿ヶ谷の陰謀

- ① A - B - C
- ② A - C - B
- ③ C - A - B
- ④ C - B - A

10. 鎌倉時代の戦争について述べた次の文の空欄A、Bに入る語句の組み合わせとして正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

鎌倉時代の戦争では、馬上から矢を放つ騎射の技術が重視されており、武士は固定した1つの的を射る A などの訓練を積んでいた。しかし1274年に元軍が襲来した B で、日本勢は上陸した相手の「てつはう」などを使用した集団戦法に苦しんだ。

- ① A：笠懸、 B：弘安の役
- ② A：笠懸、 B：文永の役
- ③ A：犬追物、 B：弘安の役
- ④ A：犬追物、 B：文永の役

〔Ⅱ〕 次の文章は、主に日本の近世の文化や学問について述べたものである。これを読んで、下記の設定問に対するもっとも適切な答えを1つ書きなさい。設問1, 6, 7, 8, 9については記述解答欄に記入し、設問2, 3, 4, 5, 10についてはマーク解答欄にマークしなさい。

元禄時代には豪商や武士を主な担い手とする華麗な町人文化が発展した。俳諧の分野では が自由・平易な談林風を創始し、その後には松尾芭蕉が言外(ア)の余情を重んじる蕉風俳諧を確立した。また、人形浄瑠璃や歌舞伎の分野では、近松門左衛門(イ)が義理人情の葛藤の描写に特色のある脚本を書いた。風俗画の分野では菱川師宣が浮世絵を確立し、陶芸の分野では、 の大成者である野々村仁清(ウ)に学んだ が、十二か月歌絵皿などの作品を展開した。

この時代、学問の分野では儒学が興隆し、 の藩命により に学んだ が、明の教育勅諭注釈書『六諭衍義』の大意をわかりやすく書いた『六諭衍義大意』を著したり、古学派の山鹿素行が中国崇拜を廃して日本主義を主張する を著したりした。

1. 空欄Aに入る俳人・連歌師の氏名を漢字で書きなさい。
2. 下線部(ア)の人物が著した最初の俳諧紀行文を、下記の①～④の中から選びなさい。

① 『誹風柳多留』	② 『長等の山風』
③ 『蕪村七部集』	④ 『野ざらし紀行』
3. 下線部(イ)の人物が活躍した当時の人形浄瑠璃上演の様子を伝える随筆を、下記の①～④の中から選びなさい。

① 『花鏡』	② 『牟芸古雅志』
③ 『申楽談儀』	④ 『明月記』

4. 下線部(ウ)の人物の作品を、下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 『風俗四季歌仙』 ② 『月次のあそび』
③ 『朝比奈小人嶋遊び』 ④ 『画本東都遊』

5. 空欄Bに入る語句を、下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 楽焼 ② 常滑焼 ③ 京焼 ④ 九谷焼

6. 空欄Cに入る陶工の氏名を漢字で書きなさい。

7. 空欄Dに入る、保科正之の後見で藩政を固め、農地を直接支配する改作法を実施した加賀藩主の氏名を漢字で書きなさい。

8. 空欄Eに入る、好学の大名である空欄Dの人物に招かれ、のち綱吉の侍講となった朱子学者の氏名を漢字で書きなさい。

9. 空欄Fに入る朱子学者の氏名を漢字で書きなさい。

10. 空欄Gに入る書名を下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 『国意考』 ② 『集義和書』
③ 『本朝通鑑』 ④ 『中朝事実』

〔Ⅲ〕 次の文章は、主に日本の近代について述べたものである。これを読んで、下記の設問に対するもっとも適切な答えを1つ書きなさい。設問1, 2, 7, 8, 10については記述解答欄に記入し、設問3, 4, 5, 6, 9についてはマーク解答欄にマークしなさい。

第一次世界大戦の講和のために開かれた1919年のパリ講和会議は、日本が五大連合国の一員として参加した初めての大規模な国際会議であった。その会議において , から日本全権が直接的に関わった事項は、山東問題と南洋群島の利権問題、そして人種平等案である。

日本は山東省の旧ドイツ権益の継承、赤道以北の南洋諸島の委任統治権を得た。日本全権は会議開始から翌月の二月、国際連盟規約に人種差別撤廃条項の挿入提案の演説を行ったが、人種平等案は様々な波紋を呼んだ。大統領選を控えカリフォルニア州で移民問題が焦点になっていた米国は反対、白豪主義を唱えていた豪州も総選挙を控え^(ア)反対、第一次世界大戦に豪州の貢献を受けていた英国も反対、結局、日本の人種平等案は却下される。

日本側にも平等を訴えるには矛盾があった。台湾・朝鮮における差別、中国人労働者の日本入国禁止措置、人口膨張に歯止めをかけるための政策としての移民奨励、国内での参政権差別など、その一端はパリ講和会議と同年におきた中国での^(イ)五・四運動、朝鮮での三・一運動からも知られる通りである。

列強と対等の関係を目指していた日本にとって、1858年の不平等条約以来、^(ウ)条約改正こそ最大の外交交渉であった。領事裁判権は1899年に撤廃され、^(オ)第二次条約改正である関税自主権の回復は1911年に達成された。

そのうえで開催されたパリ講和会議とは日本にとって、いわゆる脱亜入欧のひとつの到達点を意味したが、人種という変えようもない問題によって、その論理的破綻と限界にも直面した。さらに^(カ)ワシントン会議及び^(キ)米国排日移民法制定を通じ、日本は、英米の圧力には抗しきれない国力であることを認識させられていく。

1. 空欄Aは1903年には立憲政友会総裁となり、大正後期以降は唯一の元老として立憲政治の保持に尽力した政治家である。空欄Aに入る人物の氏名を漢字で書きなさい。

2. 空欄Bは、文展を創始したことでも知られる政治家・外交官である。空欄Bに入る人物の氏名を漢字で書きなさい。

3. 下記のXとYは、空欄Bに関係する人物について述べた文章である。それぞれに該当する人名a～dとの組み合わせとして正しいものを、下の①～④の中から1つ選びなさい。

X：Bと岩倉使節団に留学生として同行し、のちに明治憲法起草に尽力し、また第3次伊藤内閣以降の農相・法相、枢密顧問官となる。

Y：Bの父親で、岩倉使節団に同行し、廃藩置県を建議した。

a. 木戸孝允 b. 金子堅太郎 c. 大久保利通 d. 黒田清隆

① X - a, Y - c

② X - a, Y - d

③ X - b, Y - c

④ X - b, Y - d

4. 下線部(ア)について、米国カリフォルニア州では1900年ごろから排日問題が浮上し、第一次排日土地法、第二次排日土地法が施行された。その後、米国の決定的な排日法とされる排日移民法が制定されたのはいつか、下記の①～④の中から選びなさい。

① 1922年

② 1924年

③ 1926年

④ 1928年

5. 下線部(イ)に関連して、衆議院議員選挙法は、1889年に公布されて以来、数度にわたり選挙人資格の変遷を遂げているが、1919年に改正された際の内閣名と選挙人資格を、下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 第2次山県有朋内閣、男子25歳以上、直接国税10円以上
- ② 原敬内閣、男子25歳以上、直接国税3円以上
- ③ 原敬内閣、男子20歳以上、直接国税10円以上
- ④ 第2次山県有朋内閣、男子20歳以上、直接国税3円以上

6. 下線部(ウ)に関連して、日英同盟の協約期間として正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 1902年～1923年
- ② 1902年～1924年
- ③ 1904年～1923年
- ④ 1904年～1924年

7. 下線部(エ)について、1871年に条約改正の予備交渉などを目的にアメリカ・ヨーロッパに派遣された岩倉遣外使節団の書記官を務めた史学者で、記録『特命全権大使米欧回覧実記』を編纂したが、のちに論文「神道は祭天の古俗」が批判を浴び、帝国大学を追われた人物の氏名を漢字で書きなさい。

8. 下線部(オ)について、第二次条約改正時の外相の氏名を漢字で書きなさい。

9. 下線部(カ)のワシントン会議に関して述べた以下の文章XとYの正誤と、ワシントン会議時の内閣総理大臣を正しく組み合わせたものを下の①～④の中から1つ選びなさい。

X：九カ国条約によって日米間の石井・ランシング協定が廃棄された。さらに同年には山東省の旧ドイツ権益を中国へ返還する条約が結ばれた。

Y：四カ国条約によって日英同盟協約の廃棄が同意され、さらに海軍軍縮条約によって補助艦の総保有量が制限された。

① X：正 Y：誤 ア：加藤高明

② X：誤 Y：正 イ：高橋是清

③ X：誤 Y：正 ア：加藤高明

④ X：正 Y：誤 イ：高橋是清

10. 論考「失われんとする一朝鮮建築のために」の著者で、下線部(キ)の米国排日移民法と同年にソウルに朝鮮民族美術館を設立した民芸運動の主唱者の氏名を漢字で書きなさい。

〔IV〕 次の文章は、主に戦後日本の高度経済成長期について述べたものである。これを読んで、下記の設問に対するもっとも適切な答えを1つ書きなさい。設問1, 2, 3, 6, 9については記述解答欄に記入し、設問4, 5, 7, 8, 10についてはマーク解答欄にマークしなさい。

日本では、1955年から約20年間にわたり^(ア)、技術革新・設備投資が大いに進み、年平均10%前後の成長率を示した。その間の、1957年後半から1958年にかけての一時的な景気の落ち込みは、 不況と呼ばれる。高度経済成長期には科学技術がめざましく発達した。前後して、日本人研究者による成果が世界的に認められるようになり、1965年には がノーベル物理学賞を受賞した。

また、この時期には、個人所得の増大と都市化の進展によって生活様式に著しい変化が生じ、いわゆる大衆消費社会が形成された。小売業界では、廉価販売と品ぞろえのよさを武器^(イ)に、スーパーマーケットが成長した^(ウ)。また、マスメディアも発達し、新聞・雑誌・書籍類の発行部数が激増し、純文学と大衆小説の両方^(エ)の要素をあわせもつ中間小説の人気作家が輩出した。

一方で産業構造の転換により、都市と農村の格差も深刻となった。太平洋ベルト地帯^(オ)と呼ばれる重化学工業地帯には産業と人口が集中し、農村では大都市への人口流出が激しさを増した。政府は新産業都市建設促進法を公布するとともに、全国総合開発計画を閣議決定し、^(カ)産業と人口の大都市への集中を緩和して、地域間格差を是正しようとした。

高度経済成長が達成される一方で、深刻な社会問題が生み出された。農山漁村では過疎化が進み、地域社会の生産活動や社会生活が崩壊した一方、大都市では交通渋滞や騒音・大気汚染、産業公害が深刻な問題となった。1967年には7種の公害を規制する公害対策基本法^(キ)が制定されるとともに、1971年にが発足した。

1. 空欄Aに入る語句をひらがな4文字で書きなさい。
2. 空欄Bに入る，量子力学を研究し，1952年に文化勲章を受けた人物の氏名を漢字で書きなさい。
3. 空欄Cに入る省庁の名前を漢字で書きなさい。
4. 下線部(ア)について，この間に出現した以下の名称の好景気を，年代順に古いものから正しく配列したものを，下記の①～④の中から選びなさい。
a：オリンピック景気
b：神武景気
c：岩戸景気
d：いざなぎ景気
① b→a→d→c ② b→c→a→d
③ a→b→d→c ④ b→c→d→a
5. 下線部(イ)について，1960年代後半から70年代にかけて普及した「新三種の神器」ではないものを，下記の①～④の中から選びなさい。
① 電気冷蔵庫 ② カラーテレビ
③ クーラー ④ 自家用乗用車
6. 下線部(ウ)について，1957年に大阪市旭区に「主婦の店ダイエー」を開店し，その後長年ダイエーの社長を務め，価格破壊で流通革命を起こした人物の氏名を漢字で書きなさい。

7. 下線部(エ)について、社会派推理小説の分野を確立したとされる松本清張の作品を下記の①～④から選びなさい。

① 『仮面の告白』

② 『点と線』

③ 『砂の女』

④ 『黒い雨』

8. 下線部(オ)に関し、この頃の都市や農村について述べた文 a～d について、その正誤の組み合わせとして正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

a：大量の人口が流入した都市部では、急速な都市化・無秩序なスプロール化に対応するため、初の市街地建築物法が公布された。

b：農村では、農作業の機械化や減反政策、貿易自由化にともなう輸入農作物の増加により、農家総数に対する第 2 種兼業農家の割合が減少した。

c：都市部やその郊外では、核家族の住む鉄筋コンクリート造りの集合住宅の建設が進み、大阪の千里や東京の多摩などに大規模なニュータウンが開発された。

d：新産業都市として道央、富山高岡、徳島など 15 の地区が指定されると、太平洋ベルト地帯への工業の集中は急速に緩和されていった。

① a：正、b：誤、c：正、d：誤

② a：誤、b：正、c：誤、d：正

③ a：誤、b：誤、c：正、d：誤

④ a：正、b：誤、c：正、d：正

9. 下線部(カ)について、この法律が公布された年を西暦で書きなさい。

10. 下線部(キ)について、この時の内閣を組織した人物を下記の①～④の中から選びなさい。

① 池田勇人

② 田中角栄

③ 岸信介

④ 佐藤栄作